

地方独立行政法人府中市病院機構
令和5年度業務実績に関する評価

令和 6 年 7 月
府 中 市

はじめに

この評価は、地方独立行政法人法（平成15年号外法律第118号。以下「法」という。）第28条第1項第3号の規定に基づき、地方独立行政法人府中市病院機構（以下「病院機構」という。）の設立団体としての令和5年度の業務実績に関する評価である。

評価に当たっては、病院機構から提出のあった自己評価に係る報告書等をもとに、業務全体の実績及び進捗状況について総合的な評価を行い、地方独立行政法人府中市病院機構評価委員会から専門的な御意見をいただいた上で最終的な評価としてまとめたものであり、当該評価の結果を年度計画及び業務運営の改善に適切に反映するよう病院機構に求めるものである。

令和５年度に係る業務の実績等に関する評価

【総合的な評定】

令和２年から続いた新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）が令和５年５月８日から感染症法上の第５類感染症に移行された。

この間、府中市病院機構の両病院には、市内の医療機関に先んじての発熱外来の開設、陽性患者の入院の受入れ、ワクチン接種への協力など、様々な無理難題に取り組んでいただき、改めて府中市に公立病院があつてよかったと実感するとともに、医師をはじめとする医療従事者には非常なる辛苦をおかけしたことに対して、市として感謝の意を新たにするものである。

新型コロナが第５類感染症になったとはいえ、まだまだ感染が収まったわけではなく、新型コロナが、一人ひとりの予防意識の向上といったプラス面を生み出した反面、医療機関にとっては受診控えなどの患者の受診行動の変化や、またそれまでは必要としなかった感染対策や検査機能などによる経費の増大などのマイナス面も新たに生じており、昨今の物価高騰による経費面での影響や働き方改革などの政策も相まって、この５類移行後の医療機関としての姿やあり方が、医療面、経営面で現在問われているところである。

このような情勢の中、医療面については、年度計画で示されている、救急医療、へき地医療、婦人科による「女性予防医学チーム」の取組など公立病院としての役割が継続的に果たされている反面、ICT技術の活用の検討をはじめとして年度計画で記述のあったいくつかの項目について、十分な検討が行われ、成果の検証があつたのかが明確になっていないため、今後は、年度計画で予定された項目についての実行と、その結果の検証をしっかりと取り組むよう求めるものである。

経営面については、昨今の情勢により全国的に中山間地域の医療機関が苦戦する中、病院機構の資金面での市からの支援として、７,０００万円の追加の繰出しと、物価高騰対策として４,５００万円の補助を行ったところであるが、決算については結果として約３,６００万円の赤字となった。

とはいえ、給与費をはじめとした財務内容の改善に努めた点は評価するものであり、今後も収益面、費用面での新たな取組を明確にし、それを着実に実行するなどの努力を引き続き求めるものである。

【中期計画に定める事項ごとの評価】

病院機構の業務実績のうち、中期計画の大項目２「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」において評価する主な点としては、両病院における在宅当番医制への協力、府中市民病院における病院群輪番制病院としての役割、

府中北市民病院における救急告示病院としての役割を果たし、府中市における救急体制の維持が図られており、また救急車受入件数は両病院とも年度計画を上回っていること、府中市民病院は市内2カ所への巡回診療を継続しへき地医療拠点病院としての役割を果たしていること、府中市民病院における「女性予防医学チーム」による市の保健事業との連携した活動など数値に表れない活動に取り組んでいることや、広島大学病院からの小児科の非常勤医師による外来診療の維持をはじめ両病院で婦人科及び小児科外来診療を維持していること、府中北市民病院のサ高住は市の借上げ分1室を除き満室状態を継続していること、などが挙げられる。

一方で改善を求める主な点としては、近年多発する地震をはじめとする自然災害を意識し自らが立てた計画の着実な実施に努めること、年度計画に掲げている項目にどう取り組んだかなどの具体が見えてこない項目があるため今後は年度計画に掲げた内容に対してどのように取り組み、どのような結果となったかを明らかにすることに加え、今後は全国的な課題となっているサイバーセキュリティ対策にも万全を期すること、などが挙げられる。

大項目3の「業務運営の改善及び効率化に関する事項」において評価する主な点としては、令和5年度の患者満足度調査では、前年度に比べ満足度が0.1%上昇、不満足度が0.1%減少したのは努力に対する成果と考えられる点が挙げられるが、患者満足度調査は、その実施が目的ではなく満足度の向上が目的であるので、向上に向けた接遇研修などの取組を継続して実施し市民から選ばれる病院となるよう努められたい。

改善を求める主な点としては、市民への積極的な情報発信については、取組としては前年度より後退している印象がある点を指摘したい。ただ情報を発信するのではなく利用者に欲しい情報が届くような取組に努めるべきで、そういった意味では今後予定されている両病院のホームページのリニューアルに期待するものである。

大項目4の「財務内容の改善に関する事項」、大項目5の「その他業務運営に関する重要事項」及び大項目6の「予算、収支計画及び資金計画」において評価する主な点としては、赤字決算となった中、給与費削減の取組などを実施し、財務内容の改善に努めた点を挙げたい。診療報酬改定への対応や検証などについてはよく取り組んでいるため、引き続き検証を実施するとともに、取得可能な診療報酬の加算などには積極的に取り組まれたい。

改善を求める主な点としては、経営機能の強化には自立した病院経営に向けた経営分析が必要という点を挙げたい。年度計画などで計画している類似する病院との比較などによる経営上の課題の把握と改善に取り組み、その結果については市との共有を

図られたい。

大項目 7 の「短期借入金の限度額」以降に対する評価については、特筆すべき点、あるいは該当する取組がなかったため、評価については割愛する。

評価：	◎・・・年度計画を上回って実施、 △・・・年度計画を十分に実施できていない	○・・・年度計画を順調に実施 ×・・・年度計画を大幅に下回っている
-----	--	--------------------------------------

大項目 2：住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

	中期目標	中期計画	年度計画（令和5年度）	事業実績及び課題（事業報告書から）	評価
1	(1) 救急医療対策				
市民病院として担うべき医療	■在宅当番医制での休日応急診療に協力 ■病院群輪番制への参加 ■三次救急医療機関等との連携強化	●休日当番医として内科系と外科系の初期救急を担う。 ●病院群輪番制病院として医療提供	《府中市民病院》 ○休日当番医として内科系と外科系の初期救急を担う。 ○病院群輪番制病院として医療提供 《府中北市民病院》 ○救急告示病院として上下地域の救急医療を担う。 ☆医療機能等指標に係る数値目標 ・府中市民病院 救急患者数 2,000人 救急車受入件数 350人 ・府中北市民病院 救急患者数 900人 救急車受入件数 180人	・救急科の常勤医師が勤務しており救急車受入件数は目標を大きく上回った。 ・府中市民病院は休日当番医（内科・外科）及び病院群輪番制病院として、府中北市民病院は救急告示病院として救急医療を担った。 【医療機能等指標に係る実績数値】 ・府中市民病院 救急患者数 910人 救急車受入件数 495人 ・府中北市民病院 救急患者数 1,066人 救急車受入件数 231人	○
	(2) 災害時における医療対策				
	■緊急時職員マニュアル・ＢＣＰの作成 ■災害発生時対応訓練の実施及び防災訓練等への参加 ■ライフライン確保策の検討及び備蓄の確保 ■災害発生時における必要な医療の提供	●緊急時職員マニュアル・ＢＣＰの作成 ●災害発生時対応訓練の実施及び防災訓練等への参加 ●ライフライン確保策の検討及び備蓄の確保 ●災害発生時における必要な医療の提供	○事業継続計画（ＢＣＰ）に基づく訓練実施に努める。 ○災害発生時対応訓練の実施及び防災訓練等への参加 ○ライフライン確保策の検討及び備蓄の確保 ○災害発生時における必要な医療の提供 ☆評価の指標に対する計画 ・府中市民病院 防災・災害対策訓練 1回 防火訓練 2回 医療用水 3日分 医薬品（備蓄） 3日分 飲料水（備蓄） 3日分 食料（備蓄） 3日分 ・府中北市民病院 防災・災害対策訓練 1回 防火訓練 2回 医療用水 3日分 医薬品（備蓄） 3日分 飲料水（備蓄） 3日分 食料（備蓄） 3日分	・府中市民病院は、備蓄が目標に達していないが、訓練は実施している。 ・府中北市民病院は、備蓄は目標を達成しているが、防災・災害対策訓練は実施できてない。 【医療機能等指標に係る実績数値】 ・府中市民病院 防災・災害対策訓練 1回 防火訓練 2回 医療用水 60,000L 医薬品（備蓄） 2日分 飲料水（備蓄） 1日分 食料（備蓄） 1日分 ・府中北市民病院 防災・災害対策訓練 0回 防火訓練 2回 医療用水 41,700L 医薬品（備蓄） 3日分 飲料水（備蓄） 3日分 食料（備蓄） 3日分	△
			◎・・・年度計画を上回って実施、 △・・・年度計画を十分に実施できていない	○・・・年度計画を順調に実施 ×・・・年度計画を大幅に下回っている	

大項目 2：住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項										
	中期目標	中期計画	年度計画（令和5年度）			事業実績及び課題（事業報告書から）			評価	
(3)　へき地の医療対策	■府中市民病院による巡回診療の実施 ■へき地医療支援病院との連携強化	●府中市民病院による巡回診療の実施 ●へき地医療支援病院との連携強化	○府中市民病院による巡回診療の実施 ○府中北市民病院への医師派遣の継続 ○へき地医療支援病院との連携強化 ☆医療機能等指標に係る数値目標 ・府中市民病院 巡回診療　200人			《府中市民病院》 ・準無医地区での巡回診療を継続して実施 ・府中北市民病院への内科常勤医師の派遣を継続した。 【医療機能等指標に係る実績数値】 ・府中市民病院 巡回診療　235人 府中北市民病院への常勤医師派遣 1名			○	○府中市民病院は、市内2カ所への巡回診療を継続し、へき地医療拠点病院としての役割を果たしている。 ○2病院での法人化のメリットである医師の派遣をはじめとした病院間の連携が図られている。 今後はへき地医療支援病院との連携をさらに強化するよう努められたい。
					2年	3年	4年	5年		
		実績	実績	実績	目標	実績				
		府中市民病院	巡回診療	175	223	250	200	235		
(4)　周産期医療対策、小児医療対策										
	■妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援に必要な医療提供体制の構築 ■二次医療圏域内の医療機関との役割分担の明確化 ■外来診療・婦人科検診の維持及び医師確保の取組	●妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援に必要な医療提供体制の構築 ●二次医療圏域内の医療機関との役割分担の明確化 ●外来診療・婦人科検診の維持及び医師確保の取組	○妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援に必要な広域医療提供体制の役割を担う。 ○両病院での外来診療・婦人科検診の維持 ○府中市民病院内の「女性予防医学チーム」によるアプローチで女性の健康を支える。 ☆医療機能等指標に係る数値目標 ・府中市民病院 婦人科外来　2,500人 婦人科検診　900人 ・府中北市民病院 婦人科外来　350人 婦人科検診　90人			・両病院とも指標の目標数値を達成できなかったが、婦人科及び小児科の外来診療を維持した。 ・府中市民病院の婦人科では、「女性予防医学チーム」が市の保健事業と連携して活動 【医療機能等指標に係る実績数値】 ・府中市民病院 婦人科外来　2,308人 婦人科検診　731人 ・府中北市民病院 婦人科外来　319人 婦人科検診　75人			○	○指標に係る数値目標には達しなかったが、「女性予防医学チーム」による市の保健事業との連携した活動など、数値に表れない活動に取り組んでいる。 ○府中市民病院における広島大学病院からの小児科の非常勤医師による外来診療の維持をはじめ、両病院で婦人科及び小児科外来診療を維持している。 市内で不足する婦人科や小児科の常勤医師の確保に向け、引き続き市と連携した医師の招聘に取り組まれたい。
					2年	3年	4年	5年		
		実績	実績	実績	目標	実績				
		府中市民病院	婦人科外来	2,749	2,490	2,327	2,500	2,308		
			〃　検診	809	828	685	900	731		
		北市民病院	婦人科外来	429	337	319	350	319		
			〃　検診	77	82	75	90	75		
評価：			◎・・・年度計画を上回って実施、 △・・・年度計画を十分に実施できていない			○・・・年度計画を順調に実施 ×・・・年度計画を大幅に下回っている				

大項目 2：住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

中期目標		中期計画		年度計画（令和5年度）		事業実績及び課題（事業報告書から）				評価																													
(5) 在宅医療と介護等の連携体制（地域包括ケアシステムの構築に資する医療・介護サービス）																																							
■在宅サービスを提供する医療機関や介護事業所との連携 ■身体機能及び生活機能の向上に必要なリハビリの提供 ■府中北市民病院のサ高住入居者の環境整備		●在宅サービスを提供する医療機関や介護事業所との連携 ●身体機能及び生活機能の向上に必要なリハビリの提供 ●府中北市民病院サ高住入居者の環境整備		○在宅サービスを提供する医療機関や介護事業所と連携し、在宅医療の提供並びに身体機能及び生活機能の向上に必要なリハビリの提供に努める。 ○府中北市民病院では、「ふらっと上下」と連携し、地域の高齢者の介護予防及び社会参加の促進に努める。 ○府中北市民病院サ高住入居者の環境整備及び満足度の向上		・両病院は、在宅サービスを提供する医療機関・介護事業所と連携し、切れ目のない在宅医療の提供に努めた。 《府中市民病院》 ・地域包括支援センター機能を構築するための担当医師、地域包括ケアセンター長を配置し在宅部門の組織的充実を図った。 《府中北市民病院》 ・サ高住については、市が借り上げている1室を除き満室状態を継続 ・訪問介護看護事業所ささえは日中の訪問介護事業を継続して実施				○																													
		☆医療機能等指標に係る数値目標 ・府中市民病院（令和2年度） 訪問診療 100回 訪問看護 4,000回 訪問リハビリ 2,200回 ・府中北市民病院（令和2年度） 訪問診療 600回 訪問看護 1,700回 訪問リハビリ 1,000回 通所リハビリ 1,200人 ささえ契約者数 8人 サ高住入居室数 16室		☆評価の指標に対する計画 ・府中市民病院（令和5年度） 退院時カンファレンス実施率 70.0% 紹介率 34.0% 逆紹介率 20.0% ・府中北市民病院（令和5年度） 退院時カンファレンス実施率 70.0%		【医療機能等指標に係る実績数値】 ・府中市民病院（令和5年度） 退院時カンファレンス実施率 62.3% 紹介率 26.5% 逆紹介率 15.8% ・府中北市民病院（令和5年度） 退院時カンファレンス実施率 52.4%																																	
		★医療機能等指標に係る数値目標 ・府中市民病院（令和2年度） 訪問診療 100回 訪問看護 4,000回 訪問リハビリ 2,200回 ・府中北市民病院（令和2年度） 訪問診療 600回 訪問看護 1,700回 訪問リハビリ 1,000回 通所リハビリ 1,200人 ささえ契約者数 8人 サ高住入居室数 16室		☆医療機能等指標に係る数値目標 ・府中市民病院（令和5年度） 訪問診療 120回 訪問看護 4,800回 訪問リハビリ 2,500回 ・府中北市民病院（令和5年度） 訪問診療 600回 訪問看護 1,700回 訪問リハビリ 1,000回 通所リハビリ 1,200人 ささえ契約者数 34人 サ高住入居室数 16室		【医療機能等指標に係る実績数値】 ・府中市民病院（令和5年度） 訪問診療 261回 訪問看護 2,988回 訪問リハビリ 2,119回 ・府中北市民病院（令和5年度） 訪問診療 224回 訪問看護 2,301回 訪問リハビリ 3,496回 通所リハビリ 1,673人 ささえ契約者数 34人 サ高住入居室数 16室																																	
						<table><tr><td></td><td></td><td>2年</td><td>3年</td><td>4年</td><td colspan="2">5年</td></tr><tr><td></td><td></td><td>実績</td><td>実績</td><td>実績</td><td>目標</td><td>実績</td></tr><tr><td>府中市民病院</td><td>訪問看護（延べ）</td><td>2,915</td><td>3,138</td><td>3,200</td><td>4,800</td><td>2,988</td></tr><tr><td>北市民病院</td><td>訪問看護（延べ）</td><td>1,915</td><td>2,214</td><td>2,381</td><td>1,700</td><td>2,301</td></tr></table>						2年	3年	4年	5年				実績	実績	実績	目標	実績	府中市民病院	訪問看護（延べ）	2,915	3,138	3,200	4,800	2,988	北市民病院	訪問看護（延べ）	1,915	2,214	2,381	1,700	2,301		
		2年	3年	4年	5年																																		
		実績	実績	実績	目標	実績																																	
府中市民病院	訪問看護（延べ）	2,915	3,138	3,200	4,800	2,988																																	
北市民病院	訪問看護（延べ）	1,915	2,214	2,381	1,700	2,301																																	
						◎・・・年度計画を上回って実施、 △・・・年度計画を十分に実施できていない				○・・・年度計画を順調に実施 ×・・・年度計画を大幅に下回っている																													

大項目 2：住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

[illegible]

大項目 2：住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項						
	中期目標	中期計画	年度計画（令和5年度）		事業実績及び課題（事業報告書から）	評価
2	(1) 市民病院の今後のあり方					△ <

大項目 2：住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項						
	中期目標	中期計画	年度計画（令和5年度）	事業実績及び課題（事業報告書から）	評価	
	(3) 取り組むべき医師確保策					
	■大学病院、行政機関や近隣の中核病院への協力要請にこれまで以上に努め、必要な医師の確保に努めること。 ■寄付講座の開設など新たな医師確保策の積極的な検討 ■市の医師育成奨学金奨学生のキャリア形成に向けた取組への積極的な協力	●大学病院、行政機関や近隣の中核病院への協力要請等、必要な医師確保に努める。 ●市の医師育成奨学金奨学生のキャリア形成に向けた取組への積極的な協力	○大学病院、行政機関や近隣の中核病院への協力要請等、必要な医師確保に努める。 ○市の医師育成奨学金奨学生のキャリア形成に向けた取組への積極的な協力 ☆医療機能に必要な常勤医師数 ・府中市民病院 内科 10人 整形外科 3人 外科 1人 婦人科 2人 麻酔・救急科 1人 小児科 2人 泌尿器科 1人 耳鼻咽喉科 1人 眼科 非常勤 精神科 非常勤 ・府中北市民病院 内科 3人 整形外科 1人 外科 非常勤 婦人科 非常勤 小児科 非常勤 泌尿器科 非常勤 耳鼻咽喉科 非常勤 眼科 非常勤	・大学病院、行政機関や近隣中核病院への継続的な要請活動により、医師の確保に努めたが、令和5年度は新たな医師の招へいはなかった。 【医療機能等指標に係る実績数値】 ・府中市民病院 内科 6人 整形外科 2人 外科 2人 婦人科 1人 麻酔・救急科 1人 小児科 非常勤 泌尿器科 1人 耳鼻咽喉科 1人 眼科 非常勤 精神科 非常勤 ・府中北市民病院 内科 2人 整形外科 1人 外科 非常勤 婦人科 非常勤 小児科 非常勤 泌尿器科 非常勤 耳鼻咽喉科 非常勤 眼科 非常勤	○	○医師招へいについては、市と連携し様々な取組を行ったが純増となる医師の確保ができなかった。ただし、府中北市民病院における自治医大梓医師の派遣継続など、一定程度の成果はあったところである。 近隣の中核病院への協力要請をはじめとしてまだまだ取り組める可能性があるため、引き続き市と連携して様々なアプローチに努められたい。
			評価：	◎・・・年度計画を上回って実施、 △・・・年度計画を十分に実施できていない	○・・・年度計画を順調に実施 ×・・・年度計画を大幅に下回っている	

大項目 4：財務内容の改善に関する事項							
	中期目標	中期計画	年度計画（令和5年度）		事業実績及び課題（事業報告書から）	評価	
1 経営機能の強化による自立した病院経営	■中期目標期間中の経常収支均衡の達成 ■具体的な経営指標の数値目標の設定と達成状況の管理及び類似する他病院との比較などによる経営上の課題の把握とその改善	●中期目標期間中の経常収支均衡の達成 ●類似する他病院との比較などによる経営上の課題の把握とその改善	○中期目標期間中の経常収支均衡を達成する。 ○類似する他病院との比較などによる経営上の課題の把握とその改善に努める。 ☆評価の指標に対する計画（令和5年度） ・経常収支比率 101.1% ・医業収支比率 100.8%		・市からの財政支援として、7,000万円の追加繰入金、4,500万円の補助金を受け、収支計画の8,300万円の黒字目標に対して3,600万円の赤字決算となり、経常収支比率は、101.1%の目標に対して99.1%の実績となった。 ・医業費用の削減に取り組むとともに、院内すべての職員配置の見直しと、外来当直の廃止や病棟看護師の2交代制といった看護部の業務見直しなどに取り組んだ。 【医療機能等指標に係る実績数値】（令和5年度） ・経常収支比率 99.1% ・医業収支比率 98.7%	△	●収益面での両病院の医業収益の減少、費用面での物価高騰や人件費の上昇による財務内容の悪化のため、市からの追加の繰出しを行ったが赤字決算となった。 ○このような中、給与費削減の取組などを実施し、財務内容の改善に努めた点は評価したい。 ●年度計画などにある類似する病院との比較などによる経営上の課題の把握と改善に取り組み、その結果については市との共有を図りたい。
2 収入の確保と支出の削減	■効率的な病床利用や医療機器の稼働率の向上、積極的な収入確保の取組 ■診療報酬請求漏れ防止、未収金の発生予防及び管理・回収などへの適切な対策 ■両病院における医療品・医療機器等の共同購入や各部門の業務内容や実施体制の見直しによる支出の削減	●効率的な病床利用や医療機器の稼働率の向上、積極的な収入確保の取組 ●診療報酬請求漏れ防止、未収金の発生予防及び管理・回収などへの適切な対策 ●両病院における医療品・医療機器等の共同購入や各部門の業務内容や実施体制の見直しによる支出の削減	○効率的な病床利用や医療機器の稼働率の向上を図り、積極的な収入確保に取り組む。 ○診療報酬請求漏れ防止、未収金の発生予防及び管理・回収などに適切な対策を講じる。 ○両病院における医療品・医療機器等の共同購入や各部門の業務内容や実施体制の見直しによる支出の削減		・診療報酬の改定や医療制度の変革への的確な対応と効率的な病床利用を図り積極的に収入の確保に取り組んだ。 ・診療報酬の請求漏れ等の防止、未収金の発生予防及び管理・回収に対する適切な対策を行った。	○	○診療報酬改定への対応や検証などについてはよく取り組んでいる。引き続き検証を実施するとともに、取得可能な診療報酬の加算などには積極的に取り組まれたい。
3 源の確実な投資と財	■建物や設備の改修、医療機器の整備・更新などの投資の中期目標期間中の整備・更新計画の策定と計画的な投資の実施 ■将来の設備投資に向けた財源の確保	●建物や設備の改修、医療機器の整備・更新などの投資の中期目標期間中の整備・更新計画の策定と計画的な投資の実施 ●将来の設備投資に向けた財源の確保	○建物や設備の改修、医療機器の整備・更新などの投資の中期目標期間中の整備・更新計画の策定と計画的な投資の実施 ○将来の設備投資に向けた財源の確保に努める。		・建物や設備、医療機器などの投資についてあらかじめ計画をし、事前に市と検討・協議した上で行っている。 ・投資に当たってh、計画を基本にしながらも、優先順位や財源確保を考慮した。	○	○整備・更新に係る投資については、基本的には計画的に実施している。
大項目 5：その他業務運営に関する重要事項							
	中期目標	中期計画	年度計画（令和5年度）		事業実績及び課題（事業報告書から）	評価	
1 的な協力	■市の医療・健康・福祉関連施策に対する積極的な協力	●市の医療・健康・福祉関連施策に対する積極的な協力	○市の医療・健康・福祉関連施策に対する積極的な協力 ○今後も感染症拡大時には公的病院としての役割を果たす。		・市の医療・健康・福祉関連施策に対する積極的な協力した。	○	○感染拡大防止を目的としたワクチン接種への積極的な協力や、発熱症状のある患者の外来診療及び検査、入院患者の受け入れ等の取組の実施について、市として感謝する。
			評価：	◎・・・年度計画を上回って実施、 △・・・年度計画を十分に実施できていない ○・・・年度計画を順調に実施 ×・・・年度計画を大幅に下回っている			